様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施　策	①沖縄空手の指導者及び後継者の育成
			施策の小項目名	○沖縄空手を支える道場や関係団体の運営基盤の強化
主な取組	関係団体の自主事業に対する支援		対応する成果指標	県内空手道場における門下生数（１道場あたりの平均）
施策の方向	・沖縄空手を支える道場や関係団体の運営基盤の強化を図り、次世代を担う指導者及び後継者の育成並びに県民が沖縄空手に接する機会の創出等に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
空手を活用した産業の創出・振興を図るため、空手関係団体（沖縄伝統空手道振興会）におけるライセンスビジネス等の産業連携事業構築に向けた調査検討と取組推進を図る。	県	関係団体が実施する自主事業に対する支援		
		関係団体が実施する自主事業に対する支援件数（累計）		
		1件	1件（2件）	1件（3件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課　【　098-866-2232　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手産業連携構築支援事業）		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	補助	1,757	1,727

令和6年度活動内容

沖縄伝統空手道振興会の自主事業構築に向けたライセンスビジネス等の調査検討および支援（１件）を行った。

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手産業連携構築支援事業）	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	補助	3,000

令和7年度活動計画

沖縄伝統空手道振興会の自主事業構築に向けたライセンスビジネス等の調査検討と取組推進を図る。

活動指標名	関係団体が実施する自主事業に対する支援件数（累計）					進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	R6年度				沖縄空手オリジナルキャラクターを活用した商品開発（１件）を行い、順調に取組を推進できた。
			実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	1件	1件（２件）	1件（３件）	１件（３件）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
自主事業に対する支援１件を達成し、順調に取組を推進している。 沖縄空手オリジナルキャラクターを活用した商品開発及び文字（名前）商標登録等に対する支援を行うことによって、ライセンスビジネスの構築に寄与した。 また、今後は、振興会加盟道場に関する商品開発を行う予定であり、自主事業の構築を図っている。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○８月に開催される沖縄空手少年少女世界大会や沖縄空手の普及啓発イベント等に登場させ、キャラクターの認知度向上を図る。	○沖縄空手少年少女世界大会での子供たちとの交流や、世界大会及び空手の日関連でのテレビ出演等、キャラクターの認知度向上に努めた。

3　取組の検証（Check）

類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	今後、道場に関する商品開発を行うにあたり、空手家と意見交換を行い情報収集を行う必要がある。

4　取組の改善案（Action）

類型	内容
② 連携の強化・改善	沖縄空手道振興会と連携・協力を強化し、道場主の協力を得ながら、県内道場の情報収集を行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施　策	①沖縄空手の指導者及び後継者の育成
			施策の小項目名	○沖縄空手の技及び精神性の継承並びに指導体制の確立
主な取組	指導者の育成		対応する成果指標	県内空手道場における門下生数（１道場あたりの平均）
施策の方向	・継承プログラムや指導体系書の策定のほか、各流派や道場間での技術講習会・情報交換会の開催等を行い、沖縄空手の技及び精神性の継承並びに指導体制の確立に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄空手の技法や精神性の保存・継承と普及・啓発を図るため、流派別に体系書の策定や審判講習会の開催等を行い、伝統的な指導法を正しく身につけた指導者を継続的に育成する。	県	伝統的な指導法を身につけた指導者の育成		
		指導者の育成に係る取組の実施（累計）		
		指導体系書策定1件	講習会等開催4回	講習会等開催4回（8回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課　【　098-866-2232　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手流派指導体制構築事業）		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	9,623	10,136

令和6年度活動内容

審判講習会を定期的に実施するとともに、若手空手家の海外・県外渡航費を補助し、海外・県外での指導ノウハウを継承した。

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手流派指導体制構築事業）	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	14,136

令和7年度活動計画

審判講習会を定期的に実施するとともに、高段者の型演武映像をアーカイブ化することで、伝統的な技法を継承する。

活動指標名	指導者の育成に係る取組の実施（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		審判講習会を定期的に実施するとともに、若手空手家の海外・県外渡航費を補助し、海外・県外での指導ノウハウを継承した。
	1件	審判講習会開催6回	審判講習会開催4回（11回）	講習会等開催４回（８回）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和６年度は、各流派毎に審判講習会を各４回ずつ実施するとともに、新たに海外派遣向けの指導体系書を策定し、計画通りの進捗であったことから順調と判断した。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
今後は、さらなる発展に向けて、審判講習会のあり方について検討を進める。	審判講習会のあり方検討委員会を開催し、今後の審判講習会の方向性について定めた。

３　取組の検証（Check）

類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	これまでの講習会等をとおして指導体制のノウハウが確立されてきているが、高段者による実際の演武映像等はあまり残されていないため、伝統的な沖縄空手の型を継承するためにも映像を残す必要がある。

４　取組の改善案（Action）

類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	高齢のため演武が難しくなってくる高段者もいるため、後世へ残すため高段者の型演武映像をアーカイブ化する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	①沖縄空手の指導者及び後継者の育成
			施策の小項目名	○沖縄空手の技及び精神性の継承並びに指導体制の確立
主な取組	国内への指導者の派遣		対応する成果指標	県内空手道場における門下生数（１道場あたりの平均）
施策の方向	・継承プログラムや指導体系書の策定のほか、各流派や道場間での技術講習会・情報交換会の開催等を行い、沖縄空手の技及び精神性の継承並びに指導体制の確立に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
熟練指導者が実施する国内でのセミナー等に若手指導者が同行することで、各地の団体等との関係構築を強化し、沖縄空手の普及・啓発に取り組む。	県	国内指導者派遣		
		沖縄空手の指導者派遣及びセミナー等の実施数（累計）		
		1都道府県	1都道府県 （2都道府県）	1都道府県 （3都道府県）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課　【　098-866-2232　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手流派指導体制構築事業）		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	補助	15,716	5,000

令和6年度活動内容

熟練指導者が実施する国内でのセミナー等に若手指導者が同行できるよう渡航費支援補助を行っていたが、令和６年度は申請数が０件だった。

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手流派指導体制構築事業）	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	補助	4,000

令和7年度活動計画

熟練指導者が実施する国内でのセミナー等に若手指導者が同行することで、各地の団体等との関係構築を強化し、沖縄空手の普及・啓発に取り組む。

活動指標名	沖縄空手の指導者派遣及びセミナー等の実施数（累計）					進捗状況	活動概要
			R6年度				
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	1都道府県	1都道府県（２都道府県）	0都道府県（２都道府県）	１都道府県（３都道府県）	0.0%	未着手	熟練指導者が実施する国内でのセミナー等に若手指導者が同行できるよう若手指導者を対象とした渡航費支援補助を行っていたが、令和６年度は申請件数が０件だった。

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和６年度は制度開始年となっており、周知が足りていないため国内での渡航費支援申請件数が０件となっている。海外への渡航費支援およびセミナー開催については、２件の実績がある。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
令和６年度事業より、若手指導者を育成するため、熟練指導者が海外または県外からの招聘によりセミナーおよび演武をする際、若手指導者が同行する渡航費を助成することで、ノウハウの継承に取り組む。	若手指導者の渡航費補助のため、関係機関と調整し、要項・要領を整備し渡航費助成を募集した。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	国内の渡航費支援申請件数は０件、海外への渡航費支援申請件数が２件と申請件数が少ないため、県内空手道場へ幅広く周知する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	ホームページや（一社）沖縄伝統空手道振興会を通して県内空手道場に幅広く制度を周知していく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施　策	①沖縄空手の指導者及び後継者の育成
			施策の小項目名	○幼少期における空手の体験機会の創出
主な取組	学校への講師の派遣		対応する成果指標	県内空手道場における門下生数（１道場あたりの平均）
施策の方向	・競技空手と伝統空手を両輪として、運動会や学習発表会等への沖縄空手の導入を広げ、感性を育む大切な時期である幼少期における空手の体験機会の創出に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
幼少期の子どもが空手に触れる機会を創出する観点から、子どもに対して体験レベルの指導ができるよう指導者育成セミナーを実施し、県内小中高校、保育所等へ空手指導者を派遣し、出前講座を実施する。	県	空手指導者を県内各地に派遣		
		小中高校への空手指導者の派遣校数（累計）		
		小中高校3校	小中高校4校（7校）	小中高校5校（12校）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課　【　098-866-2232　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手県内普及促進事業）		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	8,507	10,049

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手県内普及促進事業）	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	10,049

令和6年度活動内容

県内保育所等35校、小学校３校、中学校２校に空手指導者を派遣し、計1,772名の児童生徒が参加した。

令和7年度活動計画

昨年度と同水準の規模で小中高校へ派遣するとともに、保育所等への指導者派遣を増やし、計40校以上の派遣を目指す。

活動指標名	小中高校への空手指導者の派遣校数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		県内保育所等35校、小学校３校、中学校２校に空手指導者を派遣し、計1,772名の児童生徒が出前講座に参加した。
	7校	25校（32校）	40校（72校）	小中高校５校（12校）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和６年度は目標５校に対して、実績40校となっている。令和５年度から保育所等への派遣を実施したことにより件数が増加している。学校の総合学習の時間等を活用し、空手の技のみならず歴史まで学習する機会を創出することで、空手を文化として普及できた。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
幼少期の子どもが空手に触れる機会を創出する観点から、子どもに対して体験レベルの指導ができるよう指導者の育成を図る。	幼少期の子どもが空手に触れる機会を創出する観点から、子どもに対して体験レベルの指導ができるよう指導者の育成を図るため、令和６年度事業実施前に指導者育成セミナーを開催し約100名の参加があった。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	派遣先は本島中南部が多くなっているため、北部や離島地域へも積極的に派遣をしていきたい。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
① 執行体制の改善	子どもに対して体験レベルの指導ができるよう指導者の育成を図りつつ、北部や離島地域も含めて、派遣校数を増やしていく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施　策	①沖縄空手の指導者及び後継者の育成
			施策の小項目名	○幼少期における空手の体験機会の創出
主な取組	巡回展の開催		対応する成果指標	県内空手道場における門下生数（１道場あたりの平均）
施策の方向	・競技空手と伝統空手を両輪として、運動会や学習発表会等への沖縄空手の導入を広げ、感性を育む大切な時期である幼少期における空手の体験機会の創出に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
「空手発祥の地・沖縄」について、より多くの方に知っていただくため、収集した空手関係資料を紹介する巡回展を実施する。	県	教育機関と連携した沖縄空手に関する巡回展の開催		
		巡回展の開催回数（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課　【　098-866-2232　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手会館ミュージアム事業）		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	10,200	10,885

令和6年度活動内容

宜野湾市立博物館にて沖縄空手の伝播をテーマとした巡回展を開催し、併せて各種関連イベントを開催した。

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手会館ミュージアム事業）	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	12,783

令和7年度活動計画

石垣市に所在する大浜信泉記念館にて巡回展を開催する。

活動指標名	巡回展の開催回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		宜野湾市立博物館にて沖縄空手の伝播をテーマとした巡回展を開催し、展示説明会、関連講座、空手体験等の関連イベントを開催した。
	1回	1回（２回）	1回（3回）	１回（３回）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
巡回展を計画通り１回実施したため、順調と判定した。また、沖縄空手について理解を深める機会を設けることができ、より多くの方に「空手発祥の地・沖縄」について知っていただいた。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
沖縄空手少年少女世界大会と連動した企画により、県民のほか、世界大会参加者に対する広報活動も併せて行い、効果的な集客を図る。	沖縄空手少年少女世界大会開催会場の近隣博物館で巡回展を開催した。 また、巡回展に関連した様々なイベントや講座を実施した。中でもJICA沖縄による「おきなわ国際協力・交流フェスティバル2024」において、ブース展示として令和3年度企画展「沖縄空手、世界へ」を出張展示し、海外へ伸展する沖縄空手の紹介および移民による空手関連パネル展を行い、もって県内外への効果的な集客に努めた。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	社会情勢の変化にかかわらず、インバウンドだけでない多方面からの集客のため、広報の充実を図る必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	幅広い層の県民に沖縄空手の巡回展に関心を持っていただけるように、幅広い広報活動を展開するとともに、県内各道場指導者へも直接呼びかけを行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	②沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信
			施策の小項目名	○学術研究の深化・発信及び空手愛好家の受入体制強化
主な取組	沖縄空手ガイドの養成		対応する成果指標	県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率
施策の方向	・博物館相当施設としての機能を有する沖縄空手会館による沖縄空手に関する資料収集、調査研究、展示、教育普及等の博物館法に規定される諸活動により、学術研究の深化・発信を推進するとともに、沖縄空手会館を拠点に官民挙げて世界大会や各種セミナーの開催、沖縄空手案内センターによるコーディネートなど、空手愛好家の受入体制の強化を進め、広く国内外に対し「空手発祥の地・沖縄」の発信に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄空手の歴史や県内各地に所在する空手関連顕彰碑及び縁の地等に関心を持っている海外の空手愛好家等のニーズに応えるため、沖縄空手の専門ガイドを育成する。	県	沖縄空手専門ガイドの養成		
		沖縄空手専門ガイドの養成人数（累計）		
		24人	24人（48人）	24人（72人）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課　【　098-866-2232　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄県空手振興事業（聖地・沖縄空手ガイド養成事業）		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	12,090	11,676

令和6年度活動内容

通訳ガイドの心得、空手の歴史、特徴、体験、フィールドワーク等のカリキュラムや講座を開設し、英語・中国語等の専門ガイドを養成した。

予算事業名	沖縄県空手振興事業（聖地・沖縄空手ガイド養成事業）	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	0

令和7年度活動計画

卒業生向けの実践研修について検討する。

活動指標名	沖縄空手専門ガイドの養成人数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	31人	35人（36人）	25人（91人）	24人（72人）	100.0%	順調	沖縄空手の歴史や特徴等を学ぶ養成講座を実施し、沖縄空手の専用のガイドを養成した。

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄空手ガイドの養成に係る講座等の実施体制や実施内容を調整し、効率的な知識の定着を図り目標を達成することができた。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○　受験生の負担のかからないカリキュラムになるよう見直しを行う。 ○　空手ガイドの需要の増加に対応できるよう、英語以外のガイドの養成にも取り組んでいく。	○　受験生の負担のかからないカリキュラムになるよう見直しを行った。 ○　空手ガイドの需要の増加に対応できるよう、令和５年度に引き続き多言語のガイドの養成にも取り組んだ。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	聖地・沖縄での空手修行や縁の地訪問といった強固な目的意識をもったインバウンドが増えてきており、空手ガイドの需要の増加が想定されているが、空手ガイドの実働人数が少ない。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	これまでに養成した空手ガイドの実働人数を増やすため、卒業生向けの実践研修について検討する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	②沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信
			施策の小項目名	○学術研究の深化・発信及び空手愛好家の受入体制強化
主な取組	国内外の空手愛好家の受入		対応する成果指標	県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率
施策の方向	・博物館相当施設としての機能を有する沖縄空手会館による沖縄空手に関する資料収集、調査研究、展示、教育普及等の博物館法に規定される諸活動により、学術研究の深化・発信を推進するとともに、沖縄空手会館を拠点に官民挙げて世界大会や各種セミナーの開催、沖縄空手案内センターによるコーディネートなど、空手愛好家の受入体制の強化を進め、広く国内外に対し「空手発祥の地・沖縄」の発信に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画 活動指標（アウトプット） R4	R5	R6
沖縄空手に関する各種問合せに対応する窓口開設、コーディネーター3名の配置を行い、県内町道場での稽古を希望する国内外の空手愛好家を当該町道場につなぐワンストップ機能を構築する。	県	沖縄空手案内センターの開設		
		コーディネーターの配置人数（内訳）		
		3名	3名（継続3名）	3名（継続3名）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課　【　098-866-2232　】	関連URL	https://okic.odks.jp/

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手案内センター事業）		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	11,545	10,358

令和6年度活動内容

沖縄空手に関する各種問合せに対応する窓口開設、コーディネーター２～３名を配置し、国内外の空手家と県内町道場とのコーディネート業務を行った。

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手案内センター事業）	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	11,545

令和7年度活動計画

沖縄空手に関する各種問合せに対応する窓口開設、コーディネーター３名の配置を行い、国内外の空手家と県内町道場とのコーディネート業務を行う。

活動指標名	コーディネーターの配置人数 （内訳）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		沖縄空手に関する各種問合せに対応する窓口開設、コーディネーター２～３名の配置を行い、県内町道場と空手家とのコーディネート業務を行った。
	3名	3名（継続３名）	3名	３名（継続３名）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

職員の退職に伴い、コーディネーターが２名の期間も生じたが、国内外からの280件の問合せに対応したため、順調と判定した。
また、沖縄空手に関する情報発信や県内道場・空手ガイド等の情報更新等を行い、広く国内外に対し「空手発祥の地・沖縄」の発信に取り組んでいる。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○他事業とも連携し、各ウェブコンテンツの対象者・内容等が一見してわかるような構成を検討し、改善を図る。	○沖縄空手案内センターHPのTOP画面に「稽古のコーディネート窓口」と表示し、対象者や内容が一見してわかるようにするとともに、他の利用目的の利用者に対しては、利用者の要望に応じて各HPへリンクできるように設定した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	利用者が必要な情報に簡単にアクセスできるよう、ホームページの掲載方法の検討や掲載情報の整理等を行う必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	引き続き、これまでホームページに掲載した情報を整理し、不要な情報の削除、必要な情報に簡単にアクセスできる掲載方法の検討、空手カレンダーや県内道場一覧等の情報充実を図る。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	②沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信
			施策の小項目名	○沖縄空手会館の利活用促進
主な取組	企画展の開催		対応する成果指標	県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率
施策の方向	・沖縄空手を見て、触れて、体感できるよう、遠足や修学旅行など、児童生徒の校外学習、県民の生涯学習、観光客向けの体験プログラム等の場として、沖縄空手会館の利活用促進に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄空手会館のミュージアムとしての機能強化を図り、「空手発祥の地・沖縄」に対する理解を深めるため、企画展を開催する。	県	沖縄空手会館における企画展の開催		
		沖縄空手会館における企画展の開催回数（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課　【　098-866-2232　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手会館ミュージアム事業）		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	10,200	10,885

令和6年度活動内容

企画展の資料収集、広報活動（展示解説会等）、展示パネル製作、運搬、設営、運営協力、アンケート分析を行った。

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手会館ミュージアム事業）	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	12,783

令和7年度活動計画

企画展の資料収集、広報活動（展示解説会等）、展示パネル製作、運搬、設営、運営協力、アンケート分析を行う。

活動指標名	沖縄空手会館における企画展の開催回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		「空手普及、120年の布石」をテーマとした企画展を開催し、併せてオープニングイベントや展示解説会、関連講座等を開催した。また、専門性が高いため監修委員会を開催し、専門家の意見を取り入れながら実施した。
	1回	1回（２回）	1回（3回）	１回（３回）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
企画展を計画通り１回実施したため、順調と判定した。また、沖縄空手について理解を深める機会を設けることができ、より多くの方に「空手発祥の地・沖縄」について知っていただいた（沖縄空手会館資料室の入館者数は緩やかに増加している　R4:5,387人⇒R6:7,119人）。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
幅広い層の県民に沖縄空手の企画展に関心を持っていただけるように、幅広い広報活動を展開するともに、わかりやすいパネルや資料作成を行う。	企画展のポスター・チラシを作製し、県内空手道場や行政機関、学校施設に配布し、県民への企画展開催の周知に努めた。また展示の開催にあたっては専門家を含めた監修委員会を開催し、もって展示の構成・レイアウト作成に努めた。

３　取組の検証（Check）

類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	観光客数の増加を見込み、国内外からの観覧者を取り込むため、展示内容のさらなる充実を図るとともに、空手体験等の他事業との連携により、あらゆる世代を誘客できるような開催プログラムとする必要がある。

４　取組の改善案（Action）

類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	幅広い層の県民に沖縄空手の企画展に関心を持っていただけるように、幅広い広報活動を展開するとともに、県内各道場指導者へも直接呼びかけを行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	②沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信
			施策の小項目名	○沖縄空手会館の利活用促進
主な取組	出前講座の開催		対応する成果指標	県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率
施策の方向	・沖縄空手を見て、触れて、体感できるよう、遠足や修学旅行など、児童生徒の校外学習、県民の生涯学習、観光客向けの体験プログラム等の場として、沖縄空手会館の利活用促進に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄を発祥の地とする空手の学術研究を推進するため、沖縄空手に関する研究報告会を実施する。	県	沖縄空手会館における出前講座の開催		
		沖縄空手会館における出前講座の開催回数（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課　【　098-866-2232　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手会館ミュージアム事業）		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	直接実施	120	120

令和6年度活動内容

沖縄を発祥の地とする空手の学術研究を推進するため、沖縄空手に関する研究報告会を実施した。

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手会館ミュージアム事業）	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	12,783

令和7年度活動計画

沖縄を発祥の地とする空手の学術研究を推進するため、沖縄空手に関する研究報告会を実施する。

活動指標名	沖縄空手会館における出前講座の開催回数（累計）					進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	R6年度				沖縄空手の学術研究を推進するとともに、沖縄空手の理解促進や知識を深めることを目的に、空手の専門家が発表する場を設け、研究会を実施したい。
			実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	1回	1回（２回）	1回（３回）	１回（３回）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
計画どおり実施したため、順調と判定した。 沖縄空手に関する研究報告会を実施し、沖縄空手の理解促進を図ることができた。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
ユネスコ無形文化遺産登録を目指すため、沖縄空手の民俗学的な観点から実施した悉皆調査に係る調査報告と連動した出前講座を開催して、相乗効果を高める。	ユネスコ無形文化財遺産登録を目指すために完成した調査報告書とともに、沖縄空手アカデミーなどの出前講座を開催し、相乗効果につなげた。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	沖縄空手のユネスコ無形文化遺産を目指すことへの理解促進と、知識を深めるための相乗効果を高める出前講座を検討する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	ユネスコ無形文化遺産登録に向けた出前講座の開催に取り組み、県民への沖縄空手に対する知識を深め、登録に向けた取り組みへの理解促進に繋げる。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	②沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信
			施策の小項目名	○沖縄空手の魅力発信
主な取組	沖縄空手の普及・啓発		対応する成果指標	県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率
施策の方向	・沖縄空手に関する様々なコンテンツの制作や国内外のイベントでの空手家による演武披露のほか、女性の美容やシニアの健康を目的としたエクササイズ等による魅力発信に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
「空手発祥の地・沖縄」の認知率向上を図るため、県外のイベントにおいて空手演武等を実施する。	県	県内空手家の県外イベントへの派遣		
		県外イベントにおける演武等の実施回数（累計）		
		4回	4回（8回）	4回（12回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課　【　098-866-2232　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手普及・啓発事業）		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	7,301	21,610

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手普及・啓発事業）	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	50,691

令和6年度活動内容

県外の観光、物産展等と連携し、沖縄空手の演武ステージを実施するとともにＰＲブースの出展、動画広告を配信した。

令和7年度活動計画

県外の観光、物産展等と連携し、沖縄空手の演武ステージを実施する。

活動指標名	県外イベントにおける演武等の実施回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		令和６年度は、東京都、愛知県、東京都、大阪府の４ヵ所で空手演武ステージとＰＲブース出展を実施した。動画広告を配信することで「空手発祥の地・沖縄」の認知率向上に努めた。
	3回	3回（６回）	4回（10回）	４回（12回）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新型コロナウィルスの影響が少なくなり目標であった県外イベントへ４回出演できた。９月に開催された「ツーリズムＥＸＰＯジャパン」での空手演武ステージおよびＰＲブース出展においては、814名が来場者アンケートに回答し、うち53.4%の方が空手発祥の地が沖縄県であることを認知していた。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
新型コロナウィルスが５類へ移行したことに伴い、仕様書上のイベント参加回数を４回へ変更している。 イベント開催地以外の一般層への普及活動が不十分なため、SNS広告等を活用して県外に幅広く情報発信する。	新型コロナウィルスの影響が少なくなり目標であった県外イベントへ４回出演した。 イベントチラシの配布、SNS広告（InstagramやFacebook等）により情報発信をした。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	県外イベントへ４回出展できたが「空手発祥の地・沖縄」の認知率は減少傾向となったため、より人の集まる大規模なイベントへの出展を行い認知率を向上させたい。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	国内・海外から多くの人が訪れる大阪・関西万博において空手演武等のステージを行うことで、「空手発祥の地・沖縄」の認知率向上につなげる。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	②沖縄空手会館を拠点とした「空手発祥の地・沖縄」の強力な発信
			施策の小項目名	○沖縄空手の魅力発信
主な取組	沖縄空手関連コンテンツの制作		対応する成果指標	県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率
施策の方向	・沖縄空手に関する様々なコンテンツの制作や国内外のイベントでの空手家による演武披露のほか、女性の美容やシニアの健康を目的としたエクササイズ等による魅力発信に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
映像制作会社・メディア等と連携した沖縄空手映像コンテンツ制作や沖縄空手を文化資源として活用した空手ツーリズム商品の造成を行うことで、「空手発祥の地・沖縄」の発信強化を図る。	県	沖縄空手関連のコンテンツ制作に対する支援の実施		
		コンテンツ制作に対する支援件数（累計）		
		1件	1件（2件）	1件（3件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課　【　098-866-2232　】	関連URL	https://tourism.odks.jp/

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	—			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
—	—	1,727	—	

令和6年度活動内容

空手映像コンテンツ制作については、事業者の参画が見込まれないことから、公募を休止した。

予算事業名	空手ツーリズム受入体制構築事業			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
県単等	補助	7,528	6,486	

令和6年度活動内容

観光関連事業者が造成する空手ツーリズム商品に対して補助（２件）を行った。

予算事業名	空手ツーリズム受入体制構築事業			
R7年度				
主な財源	実施方法	当初予算額		
県単等	補助	10,000		

令和7年度活動計画

観光関連事業者が造成する空手ツーリズム商品に対して補助（２件）を行う。

予算事業名				
R7年度				
主な財源	実施方法	当初予算額		

令和7年度活動計画

活動指標名	コンテンツ制作に対する支援件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		観光関連事業者が造成する空手ツーリズム商品（２件）に対する補助を行い、順調に取組を推進できた。
	0件（０件）	3件（３件）	2件（５件）	１件（３件）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
空手ツーリズム商品（２件）に対する支援を達成し、順調に取組を推進している。 沖縄空手に関する様々なコンテンツを制作することによって、県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率に寄与している。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○空手映像コンテンツ制作については、事業者の参画が見込まれないことから、公募を休止する。今後は、空手ツーリズム商品の造成に力を入れて取り組んでいく。 ○より多くの観光事業者に参画してもらえるよう、事業者向け説明会の開催や関係団体との連携を通して、空手ツーリズム受入体制構築事業の周知を図る。	○空手映像コンテンツ制作については、事業者の参画が見込まれないことから、公募を休止した。 ○より多くの観光事業者に参画してもらえるよう、事業者向け説明会を開催するとともに、沖縄観光コンベンションビューロー賛助会員への周知等を行った。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	国内外の観光客が参加し、沖縄空手の普及・啓発に一定の成果が見られた。しかし、より多くの観光事業者の参画を促す必要があることから、事業者向け説明会の開催や、関係団体との連携強化が必要である。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	大規模な空手イベントにあわせて情報発信を行うとともに、事業者向け説明会の開催や関係団体との連携を通じて、空手ツーリズム受入体制構築事業の認知度向上と理解促進を図る。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施　策	③沖縄空手世界大会の定期開催等を通じた国際交流
			施策の小項目名	○世界レベルの大会や国際的なイベントの実施
主な取組	沖縄空手世界大会の開催		対応する成果指標	県外・海外からの空手関係者来訪数
施策の方向	・世界に１億３千万人いるといわれる空手愛好家を対象に、沖縄空手世界大会や空手の日記念演武祭など、世界レベルの大会や国際的なイベントを実施し、沖縄空手を通した国際交流の活性化に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄空手の次世代を担う後継者の育成及び交流人口の拡大を図るため、15歳以上を対象とした世界大会と14歳以下を対象とした少年少女世界大会を2年おきに交互に開催する。	県,空手関係団体	大会の開催	大会の開催準備	
		大会参加者数	各種規程の検討等	
		1,600人	各種規程の検討等	各種規程の検討等

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課　【　098-866-2232　】	関連URL	https://okinawa-karate.okinawa/

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄空手世界大会開催事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	負担	30,129	100,423

予算事業名	沖縄空手世界大会開催事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ハード）	委託	59,747

令和6年度活動内容

令和６年８月に「第２回沖縄空手少年少女世界大会」本大会を開催した。

令和7年度活動計画

令和８年度に開催する「第３回沖縄空手世界大会」に向け、事務局体制の構築、大会開催に向けた準備を行い、県内予選を実施する。

活動指標名	大会参加者数		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		令和６年８月に「第２回沖縄空手少年少女世界大会」本大会を開催し、国内外から1,438人の参加があった。
	724人	各種規程の策定等	―	各種規程の検討等	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
各種規程については令和５年度に整備済み。 令和６年度は「第２回沖縄空手少年少女世界大会」本大会を開催し、国内外から1,438人の参加があった。第１回沖縄空手少年少女世界大会の実績（1,196人）を超える参加となったことから、順調と判定した。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○大会の開催に向けた機運醸成を図るため、関連イベントを複数回開催するとともに、TV・ラジオ等を活用した周知啓発を行う。 ○国内外からの参加者等の記念になるよう、開閉会式、フェアウェルパーティー等について規模を拡充して実施する。また、大会参加以外の日も楽しめるよう空手フェスティバルを開催する。	○関連イベントの実施及びTV・ラジオ等を活用した周知啓発により、大会期間中の来場者は延べ7,630人であった。 ○規模を拡充した開閉会式及びフェアウェルパーティーをはじめ、空手フェスティバルの大会期間中の同時開催により、多くの国内外の参加者同士が交流を深めることができた。

3　取組の検証（Check）

類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和８年度より15歳以上の一般の大会（世界大会）に統合することとなった。令和７年度は県内予選の実施と併せて、令和８年度の本大会の実施に向けた機運醸成を図る必要がある。

4　取組の改善案（Action）

類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	第３回沖縄空手世界大会の開催に向け、大会周知のための関連イベント及び海外キャラバンを実施し、大会の機運醸成を図る。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施　策	③沖縄空手世界大会の定期開催等を通じた国際交流
			施策の小項目名	○世界レベルの大会や国際的なイベントの実施
主な取組	沖縄空手少年少女世界大会の開催		対応する成果指標	県外・海外からの空手関係者来訪数
施策の方向	・世界に１億３千万人いるといわれる空手愛好家を対象に、沖縄空手世界大会や空手の日記念演武祭など、世界レベルの大会や国際的なイベントを実施し、沖縄空手を通した国際交流の活性化に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄空手の次世代を担う後継者の育成及び交流人口の拡大を図るため、15歳以上を対象とした世界大会と14歳以下を対象とした少年少女世界大会を2年おきに交互に開催する。	県,空手関係団体	大会の開催	大会の開催準備	大会の開催
		大会参加者数	各種規程の策定等	
		2,000人	各種規程の策定等	2,000人

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課　【　098-866-2232　】	関連URL	https://okinawa-karate.okinawa/

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄空手世界大会開催事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	負担	30,129	100,423

予算事業名	沖縄空手世界大会開催事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	59,747

令和6年度活動内容

令和６年８月に「第２回沖縄空手少年少女世界大会」本大会を開催した。

令和7年度活動計画

令和８年度に開催する「第３回沖縄空手世界大会」に向け、事務局体制の構築、大会開催に向けた準備を行い、県内予選を実施する。

活動指標名	大会参加者数		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		令和６年８月に「第２回沖縄空手少年少女世界大会」本大会を開催し、国内外から1,438名の参加があった。
	1,196人	各種規程の策定等	1,438人	2,000人	71.9%	やや遅れ	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値の2,000人には満たなかったため、進捗状況はやや遅れとなっているが、第１回沖縄空手少年少女世界大会の実績（1,196人）を超える参加があり、順調に推移している。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○大会の開催に向けた機運醸成を図るため、関連イベントを複数回開催するとともに、TV・ラジオ等を活用した周知啓発を行う。 ○国内外からの参加者等の記念になるよう、開閉会式、フェアウェルパーティー等について規模を拡充して実施する。また、大会参加以外の日も楽しめるよう空手フェスティバルを開催する。	○関連イベントの実施及びTV・ラジオ等を活用した周知啓発により、大会期間中の来場者は延べ7,630人であった。 ○規模を拡充した開閉会式及びフェアウェルパーティーをはじめ、空手フェスティバルの大会期間中の同時開催により、多くの国内外の参加者同士が交流を深めることができた。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和８年度より15歳以上の一般の大会（世界大会）に統合することとなった。令和７年度は県内予選の実施と併せて、令和８年度の本大会の実施に向けた機運醸成を図る必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	第３回沖縄空手世界大会の開催に向け、大会周知のための関連イベント及び海外キャラバンを実施し、大会の機運醸成を図る。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施　策	③沖縄空手世界大会の定期開催等を通じた国際交流
			施策の小項目名	○沖縄空手の海外普及の促進とグローバルネットワークの構築
主な取組	海外への指導者の派遣		対応する成果指標	県外・海外からの空手関係者来訪数
施策の方向	・世界各地への指導者の派遣や海外の空手関係団体等との連携を通して、沖縄空手の海外普及の促進とグローバルネットワークの構築に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
熟練指導者が実施する海外でのセミナー等に若手指導者が同行することで、各地の団体等との関係構築を強化し、沖縄空手の普及・啓発に取り組む。	県	海外指導者派遣		
		沖縄空手の指導者派遣及びセミナー等の実施数（累計）		
		海外1カ国	海外2カ国（3カ国）	海外2カ国（5カ国）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課　【　098-866-2232　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手流派指導体制構築事業）		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	補助	15,716	5,000

令和6年度活動内容

熟練指導者が実施する海外でのセミナー等に若手指導者が同行することで、各地の団体等との関係構築を強化し、沖縄空手の普及・啓発に取り組んだ。

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手流派指導体制構築事業）	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	補助	4,000

令和7年度活動計画

熟練指導者が実施する国内でのセミナー等に若手指導者が同行することで、各地の団体等との関係構築を強化し、沖縄空手の普及・啓発に取り組む。

活動指標名	沖縄空手の指導者派遣及びセミナー等の実施数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		熟練指導者が実施する国内でのセミナー等に若手指導者が同行できるよう若手指導者を対象とした渡航費支援補助を行っており、ハンガリーへの補助が１件、インドへの補助が１件となっている。
	1ヵ国	海外2ヵ国（３ヵ国）	海外2ヵ国（５カ国）	海外２カ国（５カ国）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
若手指導者への渡航費支援補助を２件行っており、現地でのセミナーや空手演武をそれぞれ実施しているため順調と判断した。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
令和６年度事業より、若手指導者を育成するため、熟練指導者が海外または県外からの招聘によりセミナーおよび演武をする際、若手指導者が同行する渡航費を助成することで、ノウハウの継承に取り組む。	若手指導者の渡航費補助のため、関係機関と調整し、要項・要領を整備し渡航費助成を募集した。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	国内の渡航費支援申請件数は０件、海外への渡航費支援申請件数が２件と申請件数が少ないため、県内空手道場へ幅広く周知する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	ホームページや（一社）沖縄伝統空手道振興会を通して県内空手道場に幅広く制度を周知していく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施　策	③沖縄空手世界大会の定期開催等を通じた国際交流
			施策の小項目名	○沖縄空手を通した国際交流の推進
主な取組	沖縄空手に関するイベントの開催		対応する成果指標	県外・海外からの空手関係者来訪数
施策の方向	・「空手の日」や「世界のウチナーンチュ大会」等のイベントを活用して空手演武のギネス記録更新に取り組むほか、来沖した海外空手家と県内児童生徒の交流の場を創出するなど、沖縄空手を通した国際交流を推進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
10月25日が空手の日であることを記念して、県内外の多くの空手家による演武祭を開催する。	県,空手関係団体	「空手の日」を記念したイベントの開催		
		奉納演武及び記念演武祭の実施回数（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課　【　098-866-2232　】	関連URL	https://karate-event.jp/

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄空手イベント開催事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	12,000	15,000

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手イベント開催事業）	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	20,000

令和6年度活動内容

10月25日が空手の日であることを記念し、沖縄空手会館特別道場での奉納演武、那覇市国際通りでの空手家による一斉演武を開催した。

令和7年度活動計画

10月25日が空手の日であることを記念し、沖縄空手会館特別道場での奉納演武、那覇市国際通りでの空手家による一斉演武を開催する。

活動指標名	奉納演武及び記念演武祭の実施回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		10月25日に空手会館特別道場にて奉納演武、10月27日に那覇市国際通りにて記念演武祭を開催した。
	1回	1回（２回）	1回（３回）	１回（３回）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

10月25日が空手の日であることを記念し、イベントを開催した。記念演武祭は国際通りに2,221名の空手家が集まり一斉演武を行ったとともに、沿道では約10,000名の観客が観覧した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○記念演武祭の構成段階から空手団体と意見交換等を行い、県内外から多くの空手家に協力いただけるよう連携を取る。	○記念演武祭の構成段階から空手団体と意見交換等を行い、県内外の多くの空手家と連携を取り、10月25日が空手の日であることを記念して、沖縄空手会館特別道場での奉納演武、那覇市国際通りでの空手家による一斉演武等を開催した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	記念演武祭は、多くの空手家に演武の参加協力を行う必要があり、県内主要４団体を中心に参加の呼びかけが求められる。 また一般観覧者の増加を促すため、積極的に広報活動を行う必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	記念演武祭の構成段階から空手団体と意見交換等を行い、県内外から多くの空手家に協力いただけるよう連携を取る。 ポスター等広報物を活用し、広く県民に周知を行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	④ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた取組の推進
			施策の小項目名	○沖縄空手の型に秘められた精緻な技と平和を希求し礼節を重んじる精神性の研究
主な取組	沖縄空手に関する資料収集・調査研究		対応する成果指標	県民気運の醸成及び普及啓発のためのイベント参加人数
施策の方向	・先人が築きあげてきた沖縄空手の型に秘められた精緻な技と平和を希求し礼節を重んじる精神性を研究し、その保存・継承及び普及・啓発に関係機関や団体と協働して取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄空手会館のミュージアム事業の諸活動の充実強化の一環として、沖縄空手の戦前新聞等新規資料の収集、スキャニングやトリミング等での紙面や発行日等の情報を目録化、ファイリング、パネル化を行う。	県	沖縄空手に関する資料の収集		
		沖縄空手に関する戦前の新聞記事等の収集件数（累計）		
		200件	200件（400件）	200件（600件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課　【　098-866-2232　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手会館ミュージアム事業）		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	10,200	10,885

令和6年度活動内容

利用者の沖縄空手に対する理解を深めることを目的に、沖縄空手会館資料閲覧室の新規資料の収集を行い、沖縄空手会館の収蔵資料の充実を図った。

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手会館ミュージアム事業）	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	12,783

令和7年度活動計画

利用者の沖縄空手に対する理解を深めることを目的に、沖縄空手会館資料閲覧室の新規資料の収集を行い、沖縄空手会館の収蔵資料の充実を図る。

活動指標名	沖縄空手に関する戦前の新聞記事等の収集件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	201件	216件（417件）	208件（625件）	200件（600件）	100.0%	順調	沖縄空手会館閲覧室の新規資料の収集を実施し、収蔵資料の充実を図った。

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄空手に関する戦前の新聞記事等の収集件数200件を達成したため、順調と判定した。当取組によって、沖縄空手会館の収蔵資料が充実し、沖縄空手会館の展示施設観覧者数はゆるやかに増加している（R4:5,387人⇒R6:7,119人）。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
引き続き、予算の確保や増額など、当課や関係機関における研究員の配置・確保について調整を行い、取り組んでいく。	空手振興課内において学芸員を臨時的任用職員として配置できた。また関連機関である（一社）沖縄伝統空手道振興会においても研究員、学芸員（および司書）の人員配置が認められた。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	令和６年度から学芸員の配置が認められたものの、任期付き職員としては配置できなかったため、臨時的任用職員としての配置となった。引き続き学芸員の配置・確保に取り組む必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	引き続き学芸員の任期付き職員について、その必要性を再整理し、配置・確保ができるよう調整を行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	④ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた取組の推進
			施策の小項目名	○沖縄空手の型に秘められた精緻な技と平和を希求し礼節を重んじる精神性の研究
主な取組	沖縄空手会館の収蔵資料整理		対応する成果指標	県民気運の醸成及び普及啓発のためのイベント参加人数
施策の方向	・先人が築きあげてきた沖縄空手の型に秘められた精緻な技と平和を希求し礼節を重んじる精神性を研究し、その保存・継承及び普及・啓発に関係機関や団体と協働して取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄空手会館のミュージアム事業の諸活動の充実強化の一環として、収蔵資料の整理を行う。	県	沖縄空手会館の収蔵資料整理		
		整理した資料点数（累計）		目録作成件数
		140,000点	140,000点（280,000点）	1件

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課　【　098-866-2232　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手会館ミュージアム事業）		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	10,200	10,885

令和6年度活動内容

利用者の沖縄空手に対する理解を深めることを目的に、沖縄空手会館の収蔵資料整理を行い、沖縄空手会館の収蔵資料の充実を図った。

予算事業名	沖縄県空手振興事業（沖縄空手会館ミュージアム事業）	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	12,783

令和7年度活動計画

利用者の沖縄空手に対する理解を深めることを目的に、沖縄空手会館の収蔵資料整理を行い、沖縄空手会館の収蔵資料の充実を図る。

活動指標名	整理した資料点数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	140,000点	140,000点（280,000点）	140,000件（420,000点）	１件	100.0%	順調	収蔵資料整理件数14万件を実施し、沖縄空手会館の収蔵資料の充実を図った。

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
収蔵資料整理件数14万件を実施したため、順調と判定した。当取組によって沖縄空手会館の収蔵資料が充実し、沖縄空手会館資料室の展示施設観覧者数はゆるやかに増加している（R4:5,387人⇒R6:7,119人）。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
引き続き、予算確保及び増額、学芸員や研究員等の配置・確保について調整が必要である。	空手振興課内において学芸員を臨時的任用職員として配置できた。また、関連機関である（一社）沖縄伝統空手道振興会においても研究員、学芸員（および司書）の人員配置が認められた。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	令和６年度から学芸員の配置が認められたものの、任期付き職員としては配置できなかったため、臨時的任用職員としての配置となった。引き続き学芸員の配置・確保に取り組む必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	引き続き学芸員の任期付き職員について、その必要性も再整理し、配置・確保ができるように調整を行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	④ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた取組の推進
			施策の小項目名	○沖縄空手の学術研究の推進やユネスコ無形文化遺産登録に向けた気運の醸成
主な取組	調査研究の実施		対応する成果指標	県民気運の醸成及び普及啓発のためのイベント参加人数
施策の方向	・沖縄空手に関する学術研究を推進し深めるとともに、人格を高め「平和の武」といわれる沖縄空手の伝統文化としての価値を広く啓発し、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた気運の醸成に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録を目指し、空手が生活文化に浸透している実態を民俗学的観点から調査する。	県	学術研究の推進		
		県内集落の悉皆調査の実施数（累計）		報告書作成件数
		調査50カ所	調査50カ所（100カ所）	1件

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課　【　098-866-2232　】	関連URL	https://okinawakarate-unesco.jp

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄空手ユネスコ登録推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	11,109	9,984

予算事業名	沖縄空手ユネスコ登録推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	7,961

令和6年度活動内容

これまで実施した民俗学的悉皆調査に係る補足調査を実施するとともに、調査報告書を作成した。

令和7年度活動計画

これまで実施した民俗学的悉皆調査の結果を踏まえ、推進協議会やシンポジウムを開催し、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた気運醸成に取り組む。

活動指標名	県内集落の悉皆調査の実施数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録を目指すため、空手が生活文化に浸透している実態を民俗学的観点から悉皆調査に係る補足調査を実施し、調査報告書を作成した。
	34カ所	調査76カ所（110カ所）	1件	１件	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

これまで実施した民俗学的悉皆調査に係る補足調査を実施するとともに、調査報告書を作成したため、順調と判定した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
昨年度までに実施した悉皆調査において、さらに深掘りする必要がある場合は、補足調査を行い、ユネスコ無形文化遺産登録を目指すための報告書作成に活かしていく必要がある。	これまで実施した民俗学的悉皆調査に係る補足調査を実施し、調査報告書をとりまとめた。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録を目指すため、昨年度までにとりまとめた調査結果等を活用し、機運醸成を図る必要があるほか、同様に登録を目指す琉球舞踊など他分野とも連携して取り組む必要がある。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	ユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運醸成を図るため、シンポジウム等を開催し、昨年度までにとりまとめた調査結果報告書等を広く県民に周知等を行うほか、琉球舞踊など他分野と連携して、登録を目指す。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ウ	沖縄空手の保存・継承・発展	施 策	④ユネスコ無形文化遺産の登録に向けた取組の推進
			施策の小項目名	○沖縄空手の学術研究の推進やユネスコ無形文化遺産登録に向けた気運の醸成
主な取組	県民等の気運醸成		対応する成果指標	県民気運の醸成及び普及啓発のためのイベント参加人数
施策の方向	・沖縄空手に関する学術研究を推進し深めるとともに、人格を高め「平和の武」といわれる沖縄空手の伝統文化としての価値を広く啓発し、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた気運の醸成に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録を目指し、県民や空手関係者の機運醸成を図るため、シンポジウムを開催する。	県	県民等の気運醸成に向けた取組の推進		
		沖縄空手関連イベント等を通じた普及啓発の取組件数（累計）		
		4件	4件（8件）	4件（12件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部空手振興課　【　098-866-2232　】	関連URL	https://okinawakarate-unesco.jp

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄空手ユネスコ登録推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	11,109	9,984

令和6年度活動内容

沖縄空手について、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運醸成を図るため、他事業（沖縄空手アカデミー等）と連携したイベントを実施した。

予算事業名	沖縄空手ユネスコ登録推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	7,961

令和7年度活動計画

沖縄空手について、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運醸成を図るため、シンポジウムを開催するほか、他事業と連携したイベントを実施する。

活動指標名	沖縄空手関連イベント等を通じた普及啓発の取組件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	4件	4件（８件）	3件（11件）	４件（12件）	75.0%	概ね順調	沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録を目指すため、県民等の機運醸成に向けた取組（沖縄空手アカデミー等）を実施した。

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄空手関連イベントを３件実施したため、概ね順調と判定した。関連イベント等を通じた普及啓発を図ることで、ユネスコ無形文化遺産登録を目指すための相乗効果が期待できる。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
沖縄空手に関する県内集落の悉皆調査の結果については、他事業との連携を図りながら、情報発信を強化して、県民に対する普及啓発と機運醸成を図っていく。	民俗学的悉皆調査に係る補足調査を実施したことから、調査結果のとりまとめに時間を要したため、情報発信が十分にできなかった。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録を目指すため、昨年度までにとりまとめた調査結果等を活用し、機運醸成を図る必要があるほか、同様に登録を目指す琉球舞踊など他分野とも連携して取り組む必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	ユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運醸成を図るため、シンポジウム等を開催し、昨年度までにとりまとめた調査結果報告書等を広く県民に周知等を行うほか、琉球舞踊など他分野と連携して、登録を目指す。